

# 車からぼくらを守って…

「車はおそろしい怪物……」「人殺し車をぶつこわせ！」など、こどもたちがふだん交通安全について感じていることをプラカードに書いて、おとなたちに交通安全の呼びかけをするパレードが10月2日、吉原本町通りで行なわれました。

このパレードは9月27日から行なわれている「秋の交通安全運動」の一環として行なわれたものです。

パレードには小学生約250人と市立吉原商高のブラスバンド、ボーイスカウトなどが参加しました。

道行く人たちは、プラカードに書れたこどもたちの怒りの言葉にビツクリ。交通安全思想の向上に大きな効果をあげました。



## 救急車の乱用はやめてください

富士市に消防救急隊ができたのは昭和42年。それ以来、多くのひとの「生命」の危険を守ってきました。現在、2台の救急車（消防署と富士分署に各1台）を12人の隊員が2交替で、24時間勤務を行なっています。

昨年1年間に出勤した回数は1629回で1日に4.5回も出勤したことになり、1436人を運びました。今年も9月までに1253回出勤し、1172人を病院などに運んでいます。出勤要請の多かつたのは交通事故と急病で、全体の70%を占めています。とくにさいきんは急病による出勤要請が多くなっています。

ところが、さいきん「何んでも救急車を…」という傾向が多く、重症者を搬送する場合に支障のあることがしばしばあ

ります。救急業務の対象になるのは、災害による事故、公衆の出入りする場所で生じた事故で、事故者を医療機関へ運ぶことができないときです。

救急車の要請があつたので急行したら事故を起した人が軽傷で、乗用車で十分に間にあうということがよくありますが救急車の使命をよく考え、乱用は絶対にやめてください。

119番をダイヤルしても名前や場所を言わない人がいます。出勤を要請するときは住所と名前をはつきりいうとともに、目標になる建物などを言ってください。

患者を病院から病院へ運ぶときに出勤を要請する人もあります。救急車が出動するのは、原則として生命に危険があり医師の要請があるときしか転送はしませんので注意してください。また病気によつては医師を同行したほうがよいことがあります。急病のときなどは病状をくわしく知らせてください。

## 保坂組が優勝

…第5回安全運転競技大会…

第5回富士市安全運転競技大会が10月3日、富士自動車学校で行なわれました。大会には市内の事業所から12チームが参加し、法令と運転技能の腕を競いました。

競技は1チーム3人で構成し、1チームの持点600点で採点した結果、運転技術は年ごとにうまくなっていますが、基礎的な知識が忘れられているという講評がありました。

成績は次のとおりです。

1位・保坂組（岩城静夫、芳村雅夫、柿島岩一）、2位・東京電力、3位・電報電話局、4位・ポリプラスチック、5位・中村組

## 今月の納め



市・県民税 第3期分

国民健康保険税 第3期分

納期は10月15日から11月1日までです。月末は窓口がこみすから早めに納めてください。

## 自動車税第2期分の納めをお忘れなく

納期は10月16日から11月1日までです。忘れずに期限内に納めてください。なお、納付書には車検のときに必要な納税証明書が付いていますので保存しておいてください。